光山だより

２月号
発　行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部
http://www.ozo.jp

学校園を考える

大沢町の将来を考える時、学校園の存続問題は、最重要課題の一つです。

園児数の激減から約10年前に幼稚園の統合問題が浮上して以来、小学校・中学校の存続のあり方も含めて、町内でいろいろな形で話し合いを進めてまいりました。しかし、町全体の方向性を明確化するには至らず、昨年秋、全戸にアンケートという形で、町民の皆様の意見を求めたところ、様々な年代の率直な声が出てきました。結果を分析検討しますと、中学校の統廃合を望む意見は、44％と過半数に達しておらず、その方たちも幼・小・中学校とも、最低1クラス10名以上あれば、存続を望む意見が多くを占めていることがわかりました。そして、今回学校園に関するアンケート調査の結果報告と町民全体会を、2月1日地域福祉センターで、開催させていただきました。

現在幼・小・中学校の子どもを持つ保護者、またこれから子どもを通わせたい父兄を含めた町内約80名の参加を得て、忌憚のない意見を聞かせていただきました。

全体会の中で、隣接する幼稚園、小・中学校との関連もありますが、新入学生10名以上を確保しつづけるべく、従来の学区制を超えた柔軟な対応を教育委員会に要望して行くことに、出席者全員の同意を得ました。これには校区変更という誠に高いハードルを越える必要がありますが、元気のある小規模校としてまた、幼・小・中連携の中での特色ある教育環境の良さと、その充実を地域全体で支えながら、乗り越えていく努力をしていきたいと考えています。

高山寿和）

フルーツ・フラワーパーク敷地に道の駅を整備します！

平素は、神戸フルーツ・フラワーパークの運営にご協力いただきありがとうございます。さて、先日新聞にも掲載されましたが、当パークの敷地に「道の駅」が整備される予定になりました。

「道の駅」は、平成五年の制度創設以来、現在では全国で１０４０箇所に広がっていますが、このたび国土交通省は、地域活性化の拠点として優れた90施設を選定し、当パークは地域の拠点として優れた、重点「道の駅」に選ばれました。

実施内容としては、①既存駐車場・トイレを活用し、新たに直売所や神戸ブランド物販・飲食スペース、情報発信施設や２万人分の食料等を備蓄する防災備蓄倉庫を整備、②無料公衆無線ＬＡＮや電気自動車充電器の設置となっています。

予算議決後、来年度は、物販・飲食施設を建設・運営する事業者を募集・決定する予定で平成28年度中のオープンを目指しております。

大沢町の皆様には、引き続き、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

神戸みのりの公社）

大沢中学校入学説明会

先日、小学校6年生のみなさんに入学説明会をおこないました。小学校で学んだことを基盤に、中学校3年間でその学びをさらに深めて、自分の将来を見据えた、進路というレールを自分で敷ける力を養わなければならない、という話をしました。

今まさに中学3年生は、3年間の集大成に突入しているところです。2月に入り私立高等学校、続いて公立高等学校の推薦、特色選抜の入試が行われました。3年生はここまで学んだすべてのことを駆使して受験に臨みました。3月にはまだ、公立高等学校の一般入試が控えており、ラストスパートをかけて、日々の学習に真剣に取り組んでいます。

まもなく3年生8名が卒業し、4月には新入生を迎え、新しい年度がスタートします。夢や目標を見つけ、そこに向かって、粘り強く努力する生徒を育てたいと思っています。

1年間、地域の皆様には、学校教育活動にお力添えをいただき、また、地域ではいつも子供たちに寄り添い、温かく見守っていただきましたことに心から感謝いたします。大沢校で学んだ子供たちが、自信と誇りをもって次のステージで活躍できるよう、教職員も一層の努力と精進を重ねて参ります。

中学校長　淺野　あや）

ふれあい喫茶

去る1月28日上大沢ふれあい会館に於いて、ふれあい喫茶の全体会を開催しました。年に1度の全体会、今年は「お花畑 ヘッズ坂東ご夫妻」の歌とらぽ～との肥塚さんのマジックを楽しんでもらいました。外は北風が吹き、時折雪が舞う寒い日でしたが、会館の中は皆さんもよくご存じの歌に心も体もほっこりするような楽しい時間が流れました。

お花も武長先生のご協力で1月にふさわしい花をきれいに飾ることができましたこと心よりお礼申し上げます。

稲生芳子）

神付産土の森の会情報

1／31に窯入れした今年最初の炭焼きですが、今日はその窯出し。

2月は小の月ながら、大沢児童館の森遊びがあったりして、今日は本来基本活動（森林整備）の日ですが、炭焼きの日にしました。

2／8炭焼き風景

女性会お別れ旅行　2月21日 宝塚歌劇観劇

絵：大家三千代

お知らせ

大沢地域福祉センター駐車場入り口のグレーチングが歪んで迷惑をかけていましたが、北建設事務所に2月20日、改修していただきました。

町民の動き

おくやみ

2／10 中大沢　橋本満雄さん86才
2／19 日西原　尾下文夫さん93才

行事予定

3／1 やまびこ会定例会
3／3 光山だより編集委員会
3／6 大沢里づくり地域協議会
3／11 婦人会定例役員会
3／12 ふれあい昼食会
大沢っ子応援団運営委員会
3／13 いちご農園開園
3／14 大沢婦人会・女性会総会
3／16 確定申告締切
3／17 自治連合会役員会
3／22 婦人会新旧役員会
3／29 ヨガ教室（ちぽ～と）
4／12 統一地方選挙
4／25 戦没者追悼慰霊祭

俳句

下積みは下萌えの芽に発奮し　伸一郎
春近し曾孫の駆ける廊の音　昭
早春や小鳥群れ来るわが狭庭　たみゑ
思い出は沈丁の香や母若し　三恵子
集落のじっと堪えをり余寒かな　純子
夫の顔厳しくなりし余寒かな　正子
一人居の余寒の部屋は広きかな　ちが
沈丁の香を閉じ込めて障子しめ　弘枝

大沢町 地域事務局 掲示板

交通プロジェクト

2月5日にアンケート結果を再度分析し、大沢町内の交通手段を必要としている人たちにとって、どのようなシステムが一番適しているのかなどが話し合われました。人材や費用面での課題もまだまだ多くありますが、行政からの援助を含めて今後も検討していきます。

おいしい大沢PJ

神戸市と大沢町との連携によって栽培が復活したイチゴ品種　神戸１号」が、このたび久元神戸市長により　神戸ルージュ」と命名されました。昨年実施した試験販売での好評を受け、土、日限定ながらも洋菓子店　ファクトリーシン」の４店舗でショートケーキとして販売されます。これまでも　とうもろこし」をはじめ、　たけのこ栽培」　ちじみほうれんそう」

有馬山椒」など多くの提案をしてきました。ＮＨＫ放送のドラマ　限界集落株式会社」ではありませんが、農業を基幹産業としている大沢町では、生産者が一丸となって前に進んでいかなければなりません。これからも応援をよろしくお願いいたします。

安全・安心マップ

各種データーの選別と落とし込みの作業が先日やっと終了しました。だれでもが見やすい紙面となるように、公共施設名の表記追加や等高線幅の変更などを行いながらも、また一方で、必要経費に対して何度となく折衝と検討を重ねた結果、ようやく今年度内での完成にむけての目途が立ったところです。

空き家対策PJ

先日、神戸市が定住促進策を本格化させるとの記事が新聞に掲載されていました。空き家の活用を含め、農村部への移住に向けた　定住促進コーディネーター」の配置など、移住希望者を地域に溶け込めるような支援策も考えられているようです。

震災２０年

平成７年の阪神淡路大震災から20年、あの想像を絶する惨禍を思い起こします。

あの時、すぐにこの町から中大沢を中心に、市内各所に炊き出しや物資支援に駆けつけたボランティア活動の記録が残っています。出来る者が出来ることで支えあうというボランティアの実践を示した行動力は地域の纏まりに他なりません。

20年を経て、復興したかに見えても奥深いところには至っていないのではないでしょうか。人のこころの中の爪痕を思いつつも、人は常に前向きに乗り越えていく知恵を持っています。

私たち震災経験者は、震災を知らない後世の人たちに体験とともに命の大切さを伝え続けていく義務があるのではないでしょうか。

ちらしずしに行列

救援物資配布

豚汁炊き出し　３０００食

「あなたが守りたい神戸の自然」 第1回KOBE中高生PHOTOコンテスト

～３作品が第１次通過！～

ユースプラザＫＯＢＥ主催の写真コンテストに、68回生（中学２年）の作品を応募しました。神戸市内でも　他の地区にはない景色、大沢の自然・天候」をテーマに、冬休みの美術の課題　マルチメディア学習）として取り組みました。冬は華やかな色合いの景色が少ない中、どの写真も構図をよく考えた写真でした。中でも早朝から撮影した雪が降り続く様子や、初日の出はタイミングのよいショットでした。また、数少ない色合いを南天の赤を被うくらいに積もった雪の白を捉えた写真は見事でした。初春を待つ田園風景や神社など、各自の自慢の１枚に題名とコメントを添えています。昨年の北区の魅力ムービー撮影に続く応募は、　ふるさと大沢」を発信していく自信がますますパワーアップしました。これからも地元の　良さ」を守っていきたいと考えています。

岡

下浦

皷田

小学校冬季野外活動

スキーでは　みんな速過ぎ　追いつけず　池鍋　登万
雪遊び　そりですべって　楽しいな　岡　優成
かまくらを　みんなで作り　写真とる　小前　咲良
リフト乗り　三段タワー　思い出す　下西　教弘
スキーでは　転んでばかり　痛いです　末武　源野
すべれたよ　楽しいひと時　忘れない　仲岡みつき
スキーでは　ブレーキきかず　アワワワ　仲前　幸輝
真っ白な　ゲレンデの中　スイスイと　東本　茉莉
まだ居たい　もっとスキーで　楽しみたい　丸山　翔生
到着し　辺り一面　雪景色　山添　義顕

市原の伝統行事「御頭」

その起源は不詳であるが、国指定重要文化財豊歳神社の造営が室町中期（1511年）で、そのころ阿弥陀堂において、仏式のこの制度が始まったのではないか。

旧暦の1月6日、生誕順に各家の男子相続人が、年番制で御頭を受け持った。近年では、御頭を受けるに当たって竈を改築したとか、一晩中懸かって餅をついていた。儀式では、別当の口上に合わせて全員が行杖を床に打ち鳴らして、三ツポンのミクラ豊かなり」と五穀豊穣を祈願した。祝い節も歌い、めでたい大変な行事だった。

しかしながら制度の簡素化を幾度か図ってきましたが、まだ掛けの餅は両親が揃った男子だけしか扱えず、また御頭を受ける相続人も同じく減少している現状です。

現在では、自治会が保存会として祭っておりますが、更なる改革をしてでも、この伝統行事を後世に残していきたいものです。

向井善裕）

大沢幼稚園 休園のお知らせ

昨年からお伝えしていましたように、来年度（平成27年度）入園希望者がいないため、在園児の修了に伴い、今年の4月1日より本園は一年間の休園となります。

なお、平成28年度は、大沢幼稚園を希望する新入園児が一定以上大沢町に在住することから再開を予定しています。